

令和3年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：円)

事業区分	基金の保有区分	令和3年度 当初保管額	運用益繰入額	令和3年度 支出済額	過年度充当分積 戻し額	令和3年度 年度末保管額
福島原子力災害復興 交付金事業	福島原子力災害 復興勘定	78,810,885,878	817,107	2,428,993,041	402,763,053	76,785,472,997
合計		78,810,885,878	817,107	2,428,993,041	402,763,053	76,785,472,997

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること
- ※ 基金の保有区分は基金管理運営要領第3の2で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。

令和3年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(福島原子力災害復興交付金事業の結果)

事業名	事業 実施主体	事業経費 (千円)						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
避難地域 復興拠点 推進事業	避難地域 12市町 村	595,070	593,630	0	0	595,070	593,630	避難地域 12市町 村におけ る復興拠 点づくり を支援 ※交付要 綱第4条 第1項第 1号(2) ～(4) に該当	4町村(7事業) に対し交付 を行ったこ とで、避 難地域の 復興拠点 づくりを 支援する ことがで きた	【内容】 避難地域12市町村で計画され ている復興拠点づくりについて、 福島再生加速化交付金等の既存の 国庫補助制度等において対象とな らない事業を対象に交付金を交付 する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 593,630千円 【内訳】 ・檜葉町多機能防災拠点設計、造成 費(※基金事業 74,748千円) ・富岡町トータルサポート拠点造 成費(151,665千円) ・富岡町夜の森公園実施設計費 (6,600千円) ・富岡町野菜集出荷施設用地取得 (35,889千円) ・川内村ワイン醸造施設関連整備 造成費(39,270千円) ・浪江町地域公共施設造成費 (48,459千円) ・浪江町木材製品生産拠点施設造 成費(237,000千円)

復興まちづくり加速支援事業（避難解除等区域商業機能回復促進事業）	県	78,787	71,017	0	0	78,787	71,017	避難解除等区域における公設商業施設の運営を支援 ※交付要綱第4条第1項第4号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	7市町村（8施設）に対し、交付を行ったことで、帰還した住民の買い物場の確保に寄与した。	【内容】 避難解除等区域において、商業施設を整備し運営する市町村に対し、運営に係る費用の一部を補助する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 71,017千円
ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業	県	35,425	33,559	126,379	110,983	161,804	144,542	本県の復興をけん引する産業として重視している福祉施設へのロボットの導入 ※交付要綱第4条第1項第2号（3）医療及びエネルギー関連等	6施設に対し16台の導入補助を行うとともに、効果的かつ継続して使用するための助言等を実施した。	【内容】 介護職員の確保が厳しさを増していく中、介護職員の離職防止と定着促進を図るとともに、介護施設の人材不足を補うため、ICT等を活用した業務効率化など働きやすい職場環境づくりに取り組む。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 33,559千円

								に係る重点産業進出支援事業に該当		
避難農業者経営再開支援事業	県	158	67	0	0	158	67	避難農業者の生活再建を支援 ※交付要綱第4条第1項第4号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	避難農業者が避難先や移住先で農業経営を再開するために必要な機械・施設等支援メニューを用意し、県内外の避難者に対してパンフレット送付等により広く周知し、避難先での生活再建をサポート。避難者から問い合わせはあったものの、今年度の申請には至らなかった。	【内容】 避難農業者が原子力被災12市町村外(県外を含む)の移住先や避難先で営農を開始する際に必要な農業用機械、施設等の導入に必要な経費を補助し、生活再建を支援する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 需用費ほか 67千円
ふるさとふくしま帰還・生活再建支援事業	県	1,500	820	18,258	18,210	19,758	19,030	避難者の帰還と恒久住宅への円滑な移行を支援 ※交付要綱第4条第1項第4号及び第3項ただし書き	当該事業において、令和3年度においては19世帯に対し支援を行ったことで、避難者の生活再建へ結びつけた。	【内容】 東日本大震災及び原子力災害により避難した県民に対して、一定期間の住宅確保を支援するとともに、市町村と連携して県内外の応急仮設住宅等から自宅等へ移転した際の費用を補助し、避難者の生活再建や帰還を支援する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金

								福島県全 域の復興 並びに地 域の自立 を効果に 進める事 業に該当		820 千円
チャレン ジ! 子ど もがふみ だす体験 活動応援 事業 (ふ くしまキ ッズパワ ーアップ 事業)	県	13,929	13,279	160,002	55,760	173,931	69,039	東日本大 震災の経 験を踏ま え、子ど もたちが 充実した 自然体験 学習等 を行う機 会をと おして、 心身とも に健康で 、豊かな 人間性を 育成する とともに 、社会体 験活動を とおして 、主体的 に復興に 寄与する 、たくま しい子ど もたちの 育成を図 る取組に 支援	社会教育団 体等約 2 万人に 対し、体 験活動等 を行う機 会を提供 した。	【内容】 子どもの豊 かな人間 性や生き 抜く力を 育むため の自然体 験活動等 にかかる 、体験活 動費、交 通費、宿 泊費等に 対し定額 の補助を 行う。 【完了時 期】 令和4年 3月 【経費】 委託料ほ か 13,27 9 千円

								をする。 ※交付要 綱第4条 第1項第 三号(3) 風評払拭 に資する ソフト事 業に該当		
中小企業 等復旧・ 復興支援 事業	県	105,706	96,430	0	0	105,706	96,430	被災中小 企業者の 事業再開 を支援し、 地域の総 合的な復 旧・復興 を図る。 ※交付要 綱第4条 第1項第 四号及び 第3項た だし書き 福島県全 域の復興 並びに地 域の自立 を効果的 に進める 事業に該 当	当該事業 において 77件に対 して支援 を行った ことで、 県内の事 業再開・ 継続に貢 献した。	【内容】 東日本大 震災で被 災した中 小企業が 県内で事 業を再開 ・継続す るため、 空き工場 ・空き店 舗等を借 り上げる 際に必要 となる賃 借料など に対して 補助する。 【完了時 期】 令和4年 3月 【経費】 負担金、 補助及び 交付金 96,430 千円 【実績】 77件
震災関係 制度資金 推進事業	県	208,736	194,999	0	0	208,736	194,999	東日本大 震災及び 原子力災 害により	震災関係 制度資金 を利用す る中小企 業の負担 軽減およ	【内容】 震災関係 制度資金 にかかる 県信用保 証協会の 保証料の 引下げに 対する補 助及び代 位弁済が 発生した

								事業活動に影響を受けている中小企業者を支援 ※交付要綱第4条第1項第四号福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	び資金繰り円滑化を図ることができた。	場合の損失補償を行う。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか (保証料補助) 176,259千円 補償金(損失補償) 18,740千円
再生可能エネルギー地産地消支援事業	県	661,611	447,515	315,313	99,666	976,924	547,181	再生可能エネルギー設備導入の促進 ※交付要綱第4条第1項第二号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当	年度内に太陽光発電設備2,292件、蓄電池設備380件、V2Hシステム3件に補助金を交付し、再エネルギー設備導入支援に寄与した。	【内容】 一般家庭における再生可能エネルギー設備導入の支援を目的とし、住宅用太陽光発電設備等の設置にかかる初期投資費用の軽減を図るため、県内に所在する住宅に太陽光発電設備等を設置しようとする個人等に対し、設備導入経費の一部を補助する。 【完了予定時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 447,515千円
医療施設用ロボット	県	62,066	48,994	0	0	62,066	48,994	本県の復興をけん引する産	県内13の医療機関に対し13台(セット)の	【内容】 医療施設用ロボット等の無償貸与に加え、新たに医療機関に対す

ト等導入 促進事業								業として重視している医療施設へのロボットの導入 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業進出支援事業に該当	医療施設用ロボットを貸与し、運用方法の検証を行ったと共に、県内11の医療機関に対し、認証医療機器ロボットの導入支援を行った。	る認証医療機器ロボット導入支援を取り入れることにより、医療従事者やリハビリスタッフの人材を育成するとともに、労働環境の改善や従事者の負担軽減を図り、医療機関の独自導入を促進する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 48,994千円
チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業	県	484,789	449,392	6	6	484,795	449,398	本県の復興をけん引する産業として重視しているロボット産業の集積 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該	1 15件の研究開発テーマを採択し、102,162千円の補助金を交付した。 2 4大学に補助を行い、県内企業との共同研究開発を支援した。	1 ロボット関連産業基盤強化事業 【内容】 県内に本社、研究、生産拠点が所在する企業に対し、ロボットの要素技術開発や実証に係る経費を助成し、県内企業のロボット関連産業への参入を促進する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 104,513千円 2 産学連携ロボット研究開発支援事業 【内容】 産学連携による技術開発を促進するため、ふくしまロボット産業

								当	<p>推進協議会と連動し、県内ロボット関連企業と共同研究を行う大学に対し、補助（定額）を行う。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 216,648千円</p>
									<p>3 ロボットビジョンシステムの構築に向け、ミリ波レーダによる測定とカメラによる三次元画像作成について研究開発を行った。</p> <p>【内容】 ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにおいて、福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、インフラ点検用ロボットビジョンシステムの研究開発を行い、県内企業等への成果移転を図る。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 備品購入費ほか 14,024千円</p>
									<p>4 福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、特殊形状のロボット部材の試作等を行った。</p> <p>【内容】 ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにおいて、福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、特殊形状のロボット部材の試作等を行い、入居企業や県内企業への技術提供を通じて金属加工業の競争力強化を図る。</p> <p>【完了予定時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 備品購入費ほか5,434千円</p>

									<p>5 県産ロボット42件の導入を支援したほか、周知広報用の県産ロボットカタログを作成した。</p> <p>6 ロボットフェスタふくしま2021を令和3年11月19日、20日に開催した(航空宇宙フェスタ同時開催)。123者の出展あり、来場者約4,500名。</p> <p>7 セミナーの開催、メールマガジンによる情報発信等の活動を行った。また、コーディネーター</p>	<p>5 県産ロボット導入支援事業 【内容】 県産ロボットの導入補助によって、県内企業のロボット関連産業への参入意欲を高め、その産業集積を図る。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 43,195千円</p> <p>6 ロボットフェスタふくしま開催事業 【内容】 最先端のロボットや県内で開発が進められる各種ロボットの展示・実演等を行い、県内企業の商談の場を提供するとともに、各種体験イベント等を通じ、若い世代を中心とした県民参加を図る「ロボットフェスタふくしま」を開催する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 32,842千円</p> <p>7 ふくしまロボット産業推進協議会事業 【内容】 産学官金連携の下、会員相互交流の活性化と技術基盤の強化に取り組み、ロボット関連産業の集積と取引の拡大を図る。 【完了時期】</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

									を配置し、企業訪問によるマッチング支援を行った。	令和4年3月 【経費】 委託料ほか 32,326千円 ※基金充当費は、推進協議会運営に係る経費(32,326千円) ※単独経費は、それ以外の経費(6千円)
									8 県内企業が福島ロボットテストフィールドで行った実証実験2件に対し助成を行った。	8 ロボット関連技術実証等支援事業 【内容】 県内企業が福島ロボットテストフィールドを使用して行う実証実験等に要する経費について助成する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 410千円
教育旅行復興事業	県	194,639	159,116	71,224	56,518	265,863	215,634	原子力災害の風評払拭による本県への教育旅行の人数増加 ※交付要綱第4条第1項第三号(2)教育旅行回復支援事業に該当	バス助成について、昨年度の約1.45倍の997校となった。教育旅行キャラバン等の成果が着実にあっており、新規校321校の実績があった。	1 教育旅行復興事業 【内容】 学校行事の一環として福島県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の小中高等学校に対し、その移動に係るバス経費の一部補助を行う。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか144,692千円 【実績】 バス助成実績校 (新規来県321校、継続来県676校)

										<p>2 教育旅行誘致促進事業</p> <p>【内容】 小中高等学校、旅行代理店等を対象としたオンラインでの誘致キャラバンを実施するとともに、本県で教育旅行を実施した学校への取材や県内教育旅行の入込調査を実施する。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 12,279千円</p> <p>【実績】 オンラインキャラバン 72支店 (令和3年度) 入込調査結果 99,361人泊 (令和2年度)</p> <p>3 国際教育旅行等誘致促進事業</p> <p>【内容】 東アジア地域において福島県教育旅行セミナーを開催し、本県の正しい情報や教育旅行素材のPR等を行うとともに、教育旅行関係者を招へいして本県の現状を発信し、教育旅行実施につなげる。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 委託料 2,145千円</p> <p>【実績】 教育旅行セミナー開催 3回 フォローアップ訪問 13校</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

										<p>4 教育旅行魅力発信強化事業</p> <p>【内容】 県外の教育関係者を対象としたモニターツアーを実施し、本県ならではの教育旅行プログラム「ホープツーリズム」を核に多種多様な教育素材との連携、探求学習プログラムの磨き上げを行うとともに学習効果や魅力、周知の強化を図る。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 委託料 39,518千円</p> <p>【実績】 オンラインモニターツアー 30回 探究学習プログラム作成 33本</p> <p>5 合宿の里ふるさと復興事業</p> <p>【内容】 合宿関連施設の広域連携を促進し、受入体制及び誘致を強化する。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 17,000千円</p> <p>【実績】 新規広域連携エリア 3エリア オンラインキャラバン 2回</p>
チャレンジふくしま戦略的情報発信事業	県	347,404	320,176	125,840	125,840	473,244	446,016	根強く残る風評の払拭と、時間の経過とともに	本事業の実施により、多くの企業や団体、自治体等との連携促進が図ら	<p>1 庁内連携強化事業</p> <p>【内容】 風評・風化対策プロジェクトチーム等による庁内連携の強化、県クリエイティブディレクターの助</p>

								<p>に加速する風化の防止 ※交付要綱第4条第1項第三号(3)風評払拭に資するソフト事業に該当</p> <p>れた。また、様々なコンテンツを活用した情報発信活動により、徐々にではあるが本県に対するイメージ回復が図られてきている。</p> <p>【参考】 福島県に対する良いイメージを持つ人の割合 H30 40.6% →R2 46.0% (震災前 43.8%) 出典:福島県情報発信分析事業</p>	<p>言による統一感のある効果的な情報発信などを実施する。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助金及び交付金ほか 42,698千円(うち基金充当費 42,698千円)</p> <p>2 国内外への正確な情報発信事業</p> <p>【内容】 テレビ、新聞等を活用した県民に対する復興状況の発信、全国各地で開催する「チャレンジふくしまフォーラム」、大学生との共働による情報発信や県内市町村と連携した首都圏でのプロモーション活動、YouTube動画及びSNSの活用による本県の現状と復興への取組、食と観光の魅力等の国内外への発信などを実施する。</p> <p>【完了時期】 令和4年3月</p> <p>【経費】 役務費ほか 366,316千円(うち基金充当費 240,476千円)</p> <p>3 “知るほどたのしい、ふくしま”企業連携プロジェクト</p> <p>【内容】 本県の現状や復興状況、更には世界に誇る魅力を、発進力の高い全国展開企業等とのタイアップにより、「知るほどたのしい、ふくしま」のコンセプトで様々な連携プ</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	---	---

										ロジケットを展開する。 【完了時期】 令和4年3月 【経費】 委託料ほか 37,002 千円（うち 基金充当費 37,002 千円）
(計)		2,789,820	2,428,994	817,022	466,983	3,606,842	2,895,977			